

その日の夜
十二時半

塾から戻ったボクは
復習をしながら
あすに備えていた。

ぶつぶつ

ぶつぶつ

うう：

カキカキ

カキカキカキカキ



ああ、疲れたよう…!!
今日はそろそろ
おわりにするか…!

ふふふふ

受験生
吉野まこと

カタッ

!?



一服してるぞ…
寝るとこなのかなー!

ドキドキ



みずほサンだっ!



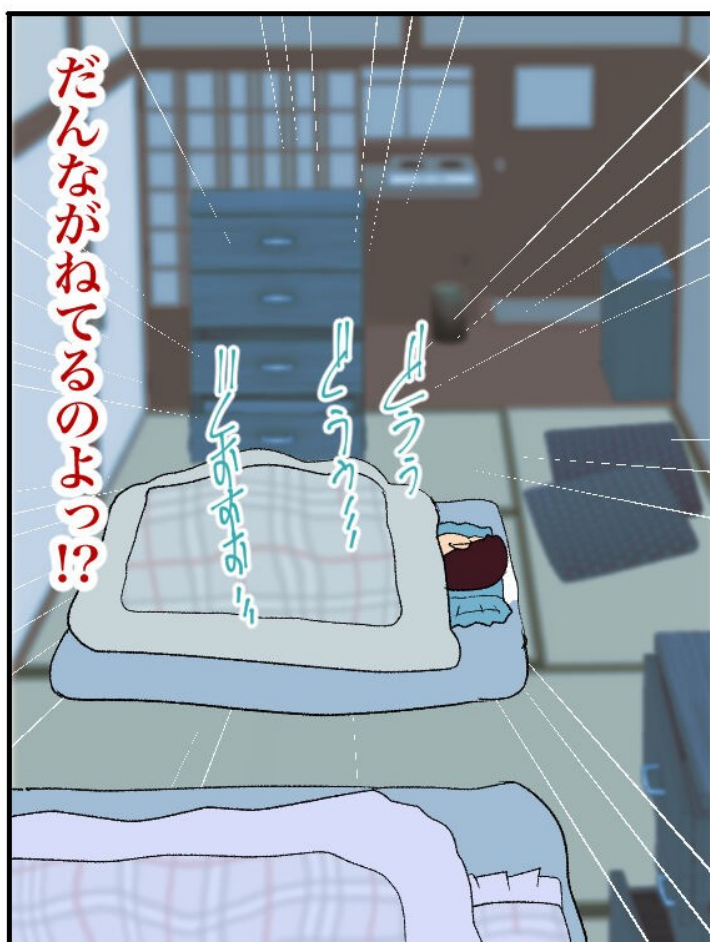
隣の

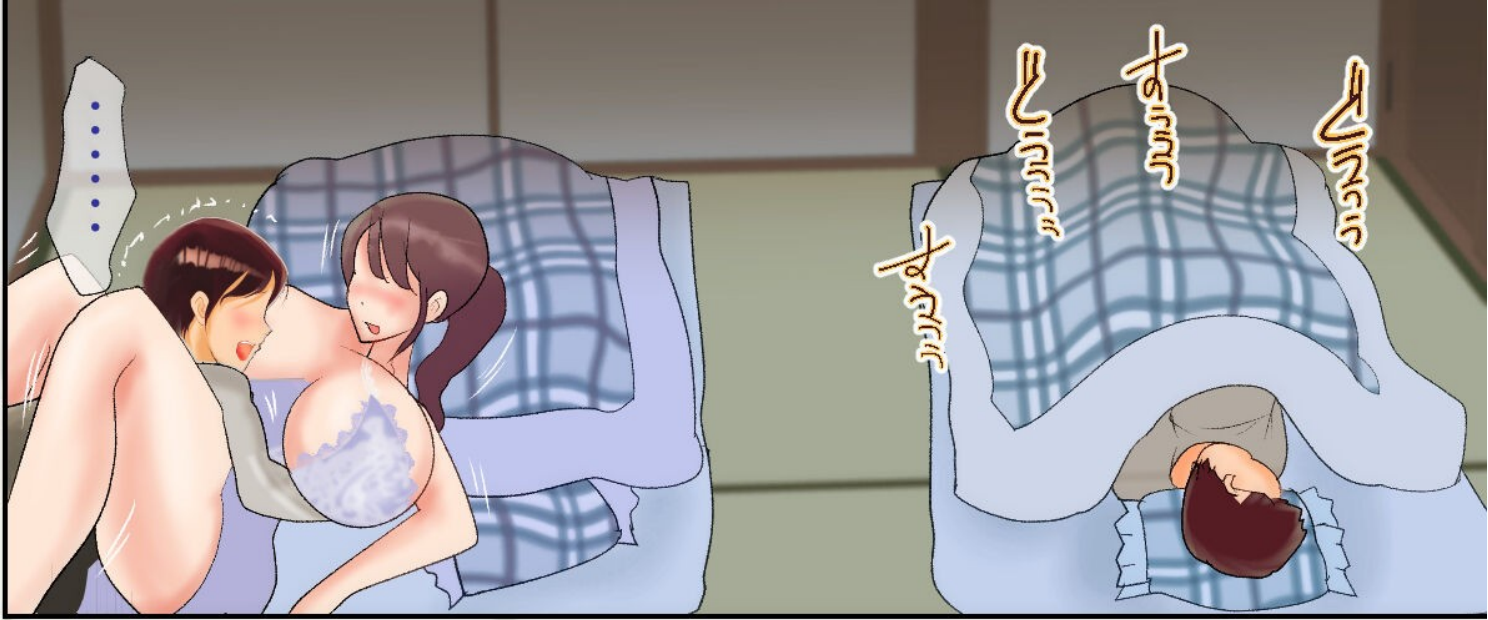
何だ…?

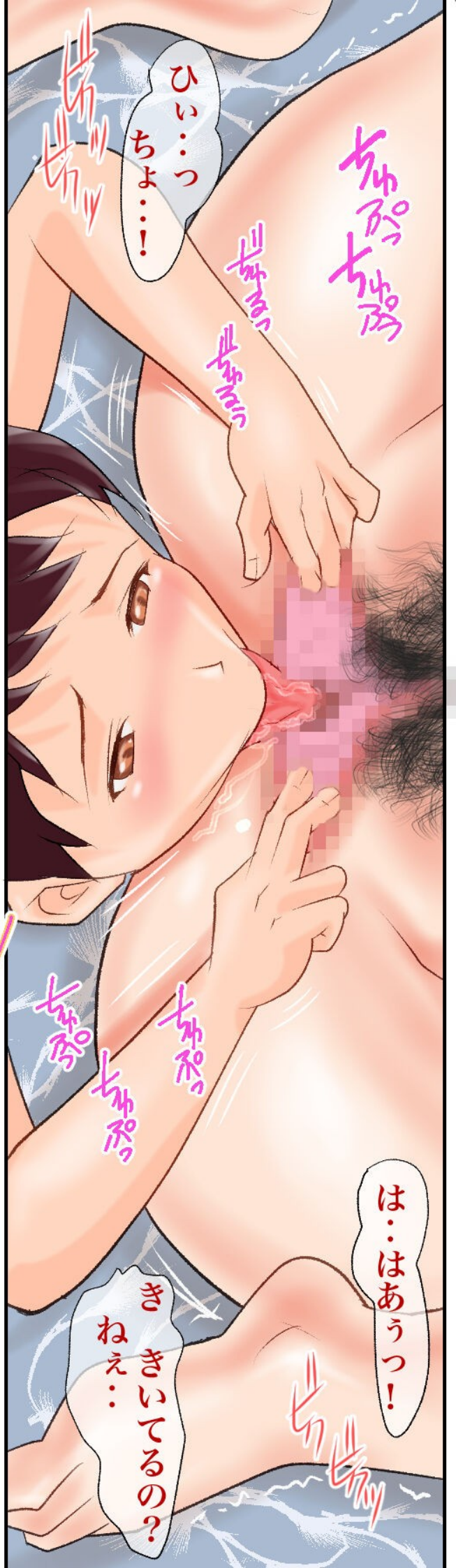
チラッ













こんな近いのに：
やめられないッ!!

ドゥラッ

おまおま

一度いれたらもう
ぬぎたくない!!

レレ

アッアッ

アッアッ

おまおま

モゾ

おまおま

やめらんない
とまらないよ!!

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

おまおまこのっ

きもちよさたまんない!!

はあ

はあ

はあ

はあ





はおおおお

んおおお

ンンン

ンンン

ンンン

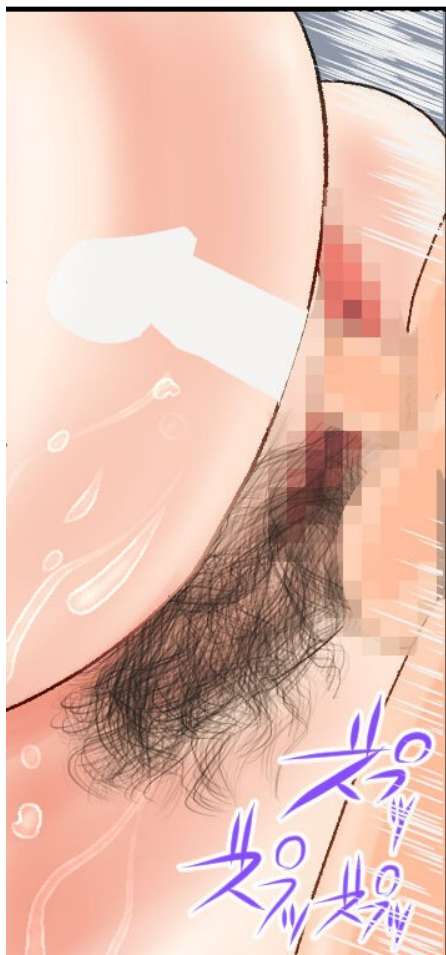
ンンン

ンンン

ンンン



ボクのものだ
〜っ!!



ンンン



全部
独り占めだ

ンンン

ここの
おつきなおしりッ

ンンン

あん!
あ…あん!

は…あん











